



学校だより

未来めざして

がっこうちょう いしかわ ひでこ
学校長 石川 秀子

10月も暖かな日が続きました。紅葉は例年よりも遅いように感じますが、空を見上げるとその青さに驚きます。天高く馬肥える秋です。日頃より、本校の教育活動へのご理解とご協力をいただきありがとうございます。

10月25日(水)は立野小学校の創立記念日で112歳を祝う創立記念集会が行われました。体育館での集会は久しぶりで、私も着任以来初めて全校児童が体育館に集う姿を見ました。子どもたちの姿は、入り口から見ても、ステージ上から眺めても、新鮮で素晴らしと感じました。体育館に集まっている全員が「立野小学校、誕生日おめでとう」の思いを表わせるのも、両脇を5、6年生がしっかりと支えているからです。たてわり委員会の皆さんは司会にも、指揮にも、クイズにもものびやかに楽しく取り組んでいて、堂々としていました。今年は「お祝いケーキ」に各学級の「育てたい木(気)」と「立野小への感謝とクラスでがんばりたいこと」を発表しながら飾り付けをしました。そのケーキは、昇降口前に展示しています。「立野小学校校歌」と100周年記念につくられた「輝く歴史 ありがとう」の歌声が体育館に響き、創立記念集会が終わりました。

その日の休み時間のことです。1年生が二人、校長室にやってきました。手には、小さな折り紙があり「たてのしょう たんじょうびおめでとう」「いつもたてのしょうありがとう」と書かれていました。創立記念集会に参加して、わくわくした気持ちを誰かに伝えたくて、校長室にきたのだとわかりました。

毎日の学校生活の中で、「楽しかったな」「頑張ったな」と思える体験が子どもたちを育てています。毎日のいつもの活動が大切です。そしていつもとおりは貴重で、難しいものです。

10月は、校外学習や宿泊体験学習に出かけることも多い月でした。無事に元気に充実した活動ができるようにと、いつも気を引き締めて引率に加わりますが、子どもと一緒に活動することは教師にとってもわくわくすることです。今月も、オーケストラの音色に身を乗り出すようにして聴き入る姿、事前の調べ学習の成果を発揮し、一般の観光客もその説明に聞き入るように、友達同士でお互いにガイドをしながら東照宮をめぐる姿、練習やリハーサルにも楽しそうに取り組み、出発式や野島研修センターの退館式を運営する姿など、子どもたちの成長を実感する場面に多く立ち会うことができました。子ども一人ひとりの努力があつての成果ですが、支え合う友達、協力し見守って下さる保護者の皆様、子どもの成長と挑戦を願い企画・運営・指導する教職員、安全な運行を支えるバスの運転手さんをはじめとするプロの仕事があつてこそこの活動であることに、改めて感謝と尊敬の念が起こります。

11月17日(金)には「全国小学校理科研究協議会研究大会 神奈川大会」(全小理)が、本校と井土ヶ谷小学校、下沼部小学校を会場に授業公開を行います。日頃から、学習活動を通して「共にかかわり合いながら、自分づくりを進める子どもの育成」に取り組んでいる本校も、全学級で理科・生活科の学習活動を全国の皆様に参観していただく予定です。

立野小学校では子どもの思考に寄り添った学習展開を工夫し、子どもたちが学びあい、自らの学習を振り返る姿を丁寧に見取る挑戦を続けています。いつも通りに、子どもたちが学習活動に熱中する様子や見方や考え方が変わり深まっていく様子を参観の皆様に見ていただきたいと思います。全小理の発表は、いつもの立野小学校の学びの公開です。毎日の学校生活の充実に繋がられるように、これからも取り組んでいきたいと思ひます。11月も、よろしくお願ひいたします。